



3学期の教育活動を振り返る！

「しつけの三原則」（森 信三：愛知県知多郡武豊町出身・京都帝国大学卒）

1. 朝、必ず親に挨拶をする子にすること。
2. 親に呼ばれたら必ず、「はい」とはっきり返事のできる子にすること。
3. 履き物を脱いだら、必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる子にすること。

令和元年度が、本日の「卒業式」、24日の「修了式」をもって終わろうとしています。この3学期は、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルスの感染が短期間で広まり、学校現場も大きく影響を受けることになりました。3月2日（月）から臨時休業に入り、2か月足らずの短い学校生活でしたが、この3学期を振り返ってみたいと思います。

1・2学期同様に、「ダリマナ～南の風～」（第3号）でもお知らせした「本年度の重点目標」に沿って、この3学期の本校の取り組みを検証してみたいと思います。

まず、(1)「基礎・基本を大切に、確かな学力を育もう」については、「国語科指導員訪問（1年生）（1/16）や「生活・総合学習発表会」（2/22）において、この一年の学習の成果が見られました。特に、生活・総合学習発表会の中では、どの学級もこれまでの学習の成果をわかりやすく自信を持って発表することができました。担任はもちろん、主役の子どもたちの成長にとっても感心させられました。また1月に実施した教育診断アンケートの結果、「授業は分かりやすく、楽しい」について肯定的な回答が94％と高い値を示していることから、教える側の教師、教わる側の児童、それぞれの努力の成果が見られました。

次に、(2)「礼節を重んじ、『常南の4つの心』を育もう」については、「感謝の会」「生活・総合学習発表会」（2/22）で見られた、学区の自然・伝統を誇りに思う心や学区の良さを見つけ発信する心、そして、地域や来賓への感謝の気持ちやおもてなしの心を大切にしようとする子どもたちの姿を随所に見ることができました。

最後に、(3)「健康でたくましい体づくりを図ろう」については、縄跳び運動やサッカーなど、体育の授業はもちろん、部活動等における冬場の体力づくりなどを通して体力と精神力を鍛えてきました。全身の体力・持久力や心肺機能の向上、さらには怪我や感染の防止にもつながるように思います。こうした冬場の取り組みが、来年度、体育の授業、そして部活動の大会などで成果となって現れることを願っています。

この一年間で子どもたちは少しずつではありますが、自分自身に自信を持ち、自分の考えや気持ちを実行に移せるようになってきました。新年度も、「挨拶」をはじめ、また新たな目標・課題を持ち、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

